

新潟県 看護協会だより

第130号

平成29年2月20日発行

新潟労働者医療協会 下越病院



今回の
施設紹介



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

CONTENTS

会長あいさつ	2
キャリアアップ(進学)支援研修会報告	2
平成28年度 瑞宝双光章受章	3
ファーストレベル研修	3
学会報告	4~5
施設紹介	6~7
職能委員会 意見交換会報告	8
研修の案内・お知らせ	9
新潟県ナースセンター	10~11
お知らせコーナー	12

発行 公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2丁目11番地
☎ 025-233-6550
FAX 025-266-1199
<http://www.niigata-kango.com/>
編集 広報委員会



会長あいさつ



新潟県看護協会 会長

佐藤 たづ子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には日頃から協会事業に対しご協力ご支援を頂き、感謝申し上げます。

お陰様で平成28年度に計画いたしました事業は順調に推移しておりますことをご報告させて頂きます。中でも昨年11月から始まりました訪問看護教育プログラム体験研修には、すでに8件の申し込みがあり、訪問看護師の定着・確保、そして質の向上に大きな効果があるものと期待をしています。

懸案でありました緩和ケア認定看護師教育は昭和大学より専任教員となる認定看護師を招聘できることとなり、今年10月開校に向け準備が順調に進んでいます。多くの会員の皆様に受講いただきたいと思っています。

2025年を見据え、新潟県におきましても今年度中に地域医療構想が策定されます。医療の在り方が大きく変わる中、地域包括ケアシステムの構築も進んでいます。私たちの間にも看護職としての役割を果たそうとの機運が大きく醸成され、地域での会議に積極的に参加し、他職種から大きな期待が寄せられています。

平成29年度におきましても重点目標に「地域包括ケアシステムの推進に向け、看護職の役割を發揮する」を掲げ、更に研修を充実してまいります。

理事会において承認いただきました平成29年度重点目標は他に

- ・変化する社会ニーズに対応した質の高い看護を提供できる人材を育成する
- ・看護職が働き続けられる労働環境の整備を推進する
- ・支部の活動を推進し、組織強化を図る

を掲げています。

来年度も力強く事業を実施してまいります。

今後も皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

准看護師研修『キャリアアップ(進学)支援研修会』報告

教育委員会研修担当：山口・大塚

平成28年10月31日（月）にキャリアアップ（進学）支援研修会を実施しました。この研修は、看護学校への進学（看護師の資格取得）を考えている人、迷っている人が今後のキャリアデザインを明確にすることを目的に企画した研修で、参加者は11名でした。

午前中は、内山美枝子教授より「自分らしいキャリアをデザインするために」の講義があり、看護教育の歴史や看護教育制度の現状、看護師国家試験の合格基準などとともに先生が他職種と行った共同研究の過程についてお話しいただきました。

午後は魚沼市立小出病院の瀧澤貞子看護師より、40代で埼玉県の通信教育にチャレンジされた事についてお話をいただきました。仕事や家庭との両立、入試の小論文のテーマや同級生との交流、実習内容など体験談を語っていただき、メリハリある内容からは未来を連想できる内容でした。

受講者からは、「進学を前向きに考えることができた。」「進学する決意ができなかったが、改めて考えていきたい。」「新潟にも通信制の学校があると進学しやすい。」など前向きな声が聞かれました。



おめでとうございます

* 平成28年度 秋の叙勲受章

瑞宝双光章 受賞



萩野道子氏

(元県立精神医療センター看護部長)



長谷川雅子氏

(元県立がんセンター新潟病院看護部長)



平成28年度認定看護管理者ファーストレベル研修が終了しました。

教育研修課 中山 豊子

7月～11月にかけての、分散型研修が終わり修了式では、新たな思いや謝辞を伝えました。次年度の認定看護管理者研修（ファーストレベル・セカンドレベル）についてはホームページに載せました。



受講者の声

* 素晴らしい講師による有意義な講義で良かった！ 楽しかった！

* 学びや自己の成長・発見があった。

* 同じ目標に向かった集団は心地良くモチベーションが上がる。

「ファーストレベルを受講し職場で
活き活きと輝きたい！」



修了式の様子



グループワークの様子

平成 28 年度 新潟県看護協会看護学会

日 時 平成 28 年 12 月 2 日 (金)
場 所 朱鷺メッセ
参加人数 752 名
(看護職 510 名 学生 242 名)

テーマ

『暮らしを支える看護の知』

“してあげる” 看護から“みかたする” 看護へ

口演 23 題 示説 19 題

学会委員長
新潟県立看護大学 大久保 明子

平成 28 年度 新潟県看護協会看護学会は、「暮らしを支える看護の知～“してあげる” 看護から“みかたする” 看護へ～」をテーマに朱鷺メッセにて開催されました。前年度を超える参加者人数と発表演題となり盛会のうちに終えることができました。

特別講演には樋本真聿先生をお招きし「地域包括時代ー生活に戻すためのチーム医療と地域包括システムー」というテーマでご講演いただきました。少子高齢化や医療者不足といった課題解決に主眼を置くのではなく、地域包括ケア時代の目指すものは何かといった目的を明確にしていくことが重要であること、社会的弱者ケアから元気高齢者育成支援への取り組みが重要であることなどについてユーモアを交えながらお話しいただきました。

看護フォーラムでは、退院調整担当看護師長で在宅看護専門看護師でもある野口忍先生から「看護職だからできる退院支援ー地域包括ケアシステムをつなぐ看護の知ー」というテーマでご講演いただきました。具体的な実践事例を取り上げながら、看護師だからできる退院支援について沢山の手がかりを示していただきました。

本会では新潟県での地域包括ケアシステム構築に向けた情報を発信していきたいと考えています。また、看護研究の成果発表の機会であるとともに、抄録のまとめ方や発表の仕方について指導を受ける貴重な機会もあります。会員の皆様からの発表演題の申し込みおよび学会へのご参加を心よりお待ち申し上げます。



会長あいさつ



ポスターセッション



演題発表

特別講演

地域包括の時代

～生活に戻すためのチーム医療と地域包括システム～

講師 檜本 真聿（四国医療産業研究所 所長・日本医師会総合政策研究機構 客員研究員）
座長 柿澤 清美（新潟青陵大学 看護学部看護学科 准教授）



参加者の声

- 入院中だけでなく、その人の今後の生活を考えた退院支援をしていきたいと思った。
- その人らしい生活に戻れるような、医療の必要性を感じた。

＊＊＊

看護フォーラム

看護職だからできる退院支援

～地域包括ケアシステムをつなぐ看護の知～

講師 野口 忍（北摂総合病院 退院調整担当看護師長・在宅看護専門看護師）
座長 小笠原 映子（新潟大学医学部保健学科 准教授）



参加者の声

- 実際の事例を聞いて、終末期や、在宅医療のイメージができた。
- 患者さんの思いと、看護者の価値観に相違があるということに気付かされた。
- 今まであまり知ることのなかった訪問看護の分野に興味を持つきっかけになった。

新潟労働者医療協会下越病院 総看護師長 松木 清美

下越病院は新潟市秋葉区に位置し、緑豊かな田園に囲まれる中で地域の急性期を中心に慢性期・回復期と広範な医療を担っています。

地域では独居高齢者・老老世帯が増え、入院時から退院を見据えての対応が強化できるよう院内では退院支援リンクナースが研修会などを開催しています。院内・外とは医療福祉連携課を中心に各職種スタッフや在宅を支える地域事業所の方々との連携をすすめています。なかでも秋葉区の医療機関と連携し『あきは食のサポートチーム』を結成し、「生きる」を支えるための摂食嚥下についての共同の取り組みに力を入れています。

地域の方と開催する健康祭り



多職種でのカンファレンス



歯科衛生士との口腔ケアの実践

退院前合同カンファレンス



看護師同行
退院前訪問



モデルケースの退院支援を
多職種で検討



コーナー



新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 看護部長 佐藤 順子

魚沼基幹病院は、魚沼地域の拠点的医療を担う基幹病院として、2015年に開院しました。上越新幹線「浦佐駅」(南魚沼市)から越後三山に向かい2キロほど。秋になれば金色に輝く田園に囲まれ、自然豊かなロケーションの中に立地しています。

魚沼医療圏で「地域全体で一つの病院」として機能することを目指した医療再編が行われ、当院は三次救急、高度先進医療、周産期医療などを担っています。私たちは患者さんの「住み慣れた地域で人生の最後まで暮らしたい」という想いに添えるよう、地域への関係性を深めるよう活動してきました。地域との交流を紹介します。

越後三山と魚沼基幹病院



浦佐駅から病院側面を望む。奥は越後三山（1つ隠れています）

地域との交流（収穫祭）



春に植えたコシヒカリを食べる収穫祭
地元の方のご厚意で餅つきをさせて
いただきました

地域との交流（田植え）



地域の方の田んぼを借りて
魚沼産コシヒカリを田植え

ゲレンデの安全研修（BLS）



苗場プリンスと連携
協定を締結。
締結式のあと、当院
スタッフによる「もしも！のときの急救
対応講座」を開催。
従業員さんにBLS
講習を行いました。

地域との交流（地元イベント）



地元のイベント（ぶどう
収穫祭）にブース出店
来場者と交流しました

南魚沼グルメマラソン



地元・浦佐で行われた
グルメマラソン。50人
以上のスタッフが参加
しました。

職能委員会 意見交換会報告

保健師職能委員会

テーマ

「切れ目のない支援をめざし、学び合おう」

話題提供を聞いて思ったことや感じたこと、保健師の活動について思うこと、日頃どんな思いで活動しているか等自由に話し合う

日時 平成28年11月26日(土) 13:00~

内容 話題提供後グループワーク 保健師情報
交換会 参加者数 41名

平成28年11月26日看護研修センターで、新潟版ネウボラの先駆的事例として、新発田市と三条市から話題提供いただき、情報交換を行い参加者のニーズに合った意見交換会ができました。



看護師職能Ⅰ委員会

テーマ

「看護師のやりがい、看護の魅力を再発見
～自己の看護の振り返りをして元気になろう～」

日時 平成28年11月12日(土)

10:00~16:30

講師 高橋 恵 聖マリアンナ医科大学病院
ナースサポート統括看護部長

内容 講義、グループワーク
参加者数 57名

講義はとてもパワフルで、それだけで元気をもらいました。意見交換会は、活発な場となり参加者の目が輝いていました。



助産師職能委員会

テーマ

「お産・育児をより安心、安全にするためにはメンタルケアの充実が不可欠」

日時 平成28年11月15日(火)

13:00~16:00

講師 福井直樹

新潟大学医歯学総合病院 講師 医学博士

内容 講義、グループワーク

参加者数 41名

他施設での対応、取り組み、事例交換、アドバイスが得られたとの意見が多くありました。



看護師職能Ⅱ委員会

テーマ

「施設における看護管理者の役割とは？」

日時 平成28年11月26日(土)

9:30~16:00

講師 川崎千鶴子

特別養護老人ホーム みずべの苑
施設長

内容 講義 グループワーク
参加者数 26名

同じ悩みを聞き、改善すべき点が見え、参考になったなどの意見が多数聞かれ満足度の高い内容でした。



◆研修の案内

- 看護の将来ビジョンと看護職への期待～地域包括ケア時代をみすえて～
 日時：平成 29 年 4 月 15 日（土） 14:00 ~ 16:00
 対象：看護管理者及び「看護の将来ビジョン」に関心のある看護職 200 名
 講師：坂本 すが（公益社団法人日本看護協会 会長）
 会場：新潟日報社メディアシップ
 募集：3月16日(木)～3月31日(金)

● 特定行為に係る看護師の研修制度

- 日時：平成 29 年 4 月 13 日（木）
 10:00 ~ 16:00
 対象：看護管理者（師長職以上）及び
 認定看護師 80 名
 講師：洪 愛子
 （公益社団法人日本看護協会 常任理事）
 会場：看護研修センター
 募集：3月16日(木)～3月31日(金)

● BLS（一次心肺蘇生）コース研修

- 日時：平成 29 年 4 月 23 日（日）
 9:30 ~ 16:30
 対象：関心のある看護職 26 名
 講師：AHA 公認看護師＋インストラクター
 会場：看護研修センター
 募集：日本ACLS協会HPより申し込んで下さい

● 認定看護管理者教育課程 応募期間について

セカンドレベル：3月 15 日～3月 29 日
 ファーストレベル：4月 3 日～4月 17 日

◆平成29年度 新潟県看護協会看護学会について

日時：平成 29 年 12 月 1 日（金） 会場：朱鷺メッセ

演題申し込み期間：3月15日(水)～4月21日(金) 15:00必着となっています。

※お早めにお申し込みください。

1. 申込用紙は、ダウンロードできます。2月にアップ予定。
 （平成 28 年度の学会集録集でも参照できます）
2. 演題採否は 6 月初旬となっています。
3. 皆様からのご投稿をお待ちしています。



「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」の計画について



新潟県看護協会は平成 22 年度から日本看護協会と協働し、看護職が働き続けられる労働条件・労働環境改善事業として「看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進ワークショップ」を開催しております。これまで 15 施設の参加があり、平成 29 年度は継続の 3 施設対象のワークショップを実施いたします。

日本看護協会は当事業を平成 29 年度で終了とするため、新規のワークショップ参加の募集は行わない予定です。平成 29 年度からは新たに厚生労働省及び日本看護協会の方針どおり、「新潟県医療勤務環境改善支援センター」を活用して看護職のみならず医療の場に働く人々全体の勤務環境改善をめざしています。



会員施設の皆様には災害支援ナースの登録にご協力いただき感謝いたします。

この度、東洋羽毛新潟営業所様からのご厚意により、大きいサイズの災害支援ナース用ジャケットを 5 着寄贈していました。最近は男性の支援ナースも増えていますので、大変ありがたく大切に使わせていただきたいと思います。

「平成28年度看護職員再就職支援セミナー」が終了しました

新潟県ナースセンターは、看護職の資格をお持ちで未就業の方を対象に、看護職員再就職支援セミナーを開催しています。

平成28年度は、新潟市、上越市、魚沼市の会場での基礎コース（3日間）と、実習が出来る体験コース、訪問看護基礎コースを開催し、87名の参加がありました。受講者からは、「再び医療の現場で働きたい」「一歩踏み出してみたい」などの感想が多く聞かれ再就職への意欲が高まりました。

平成28年12月現在18名が再就職しています。

セミナーの様子



電子カルテの講義



看護技術の演習



グループワークで情報交換



ストレスケアの講義

基礎コースは、当研修センターの他、新潟県立看護大学、魚沼基幹病院、新潟大学医歯学総合病院看護職キャリア開発コアセンターにおいて、最近の看護事情や基礎知識、フィジカルアセスメント、電子カルテ、ストレスケアなどの講義、また静脈注射や吸引などの看護技術の演習を行いました。

訪問看護基礎コースは、同行訪問をして訪問看護の必要性を学びました。

体験コースは、実際に病院や介護施設、訪問看護ステーション（協力施設121施設）で看護を実践しました。

看護職員再就職支援セミナー 参加人数

コース名	参加人数
基礎コース	66人
訪問看護基礎コース	5人
体験コース	17人



※多くの施設からの
ご理解ご協力に
感謝申し上げます。

体験コースにて受講者を受入れてくださった施設の感想

看護職員再就職支援セミナー体験コースの受講生を受け入れて

あさひ訪問看護リハビリステーション 管理者 高山 才子

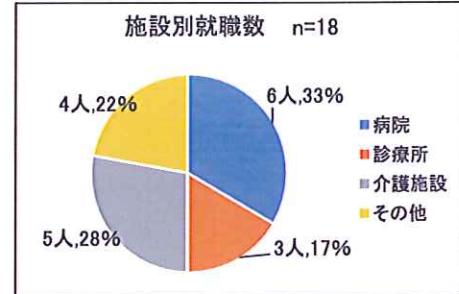
「訪問看護の実際の現場を知ってもらいたい」「自分たちの訪問看護を振り返る」という思いから、当ステーションでも『再就職支援セミナー体験コース』にご協力させていただきました。

実習にこられた方は、看護師経験が10年以上の方と3年未満の方。それぞれ病棟で勤務されており、在宅の現場を見るのは実習以来とのことでした。そこで、小児から高齢者まで幅広い利用者様宅に同行して頂きました。

訪問終了後、「地域医療における訪問看護の重要性を認識することが出来た」「利用者だけでなく家族へのケアの必要性を実感した」と感想をもらうとともに、「このような関わりがしたくて看護師を目指したことを思い出しました」と私たちも訪問看護が看護の原点であると再認識させられました。

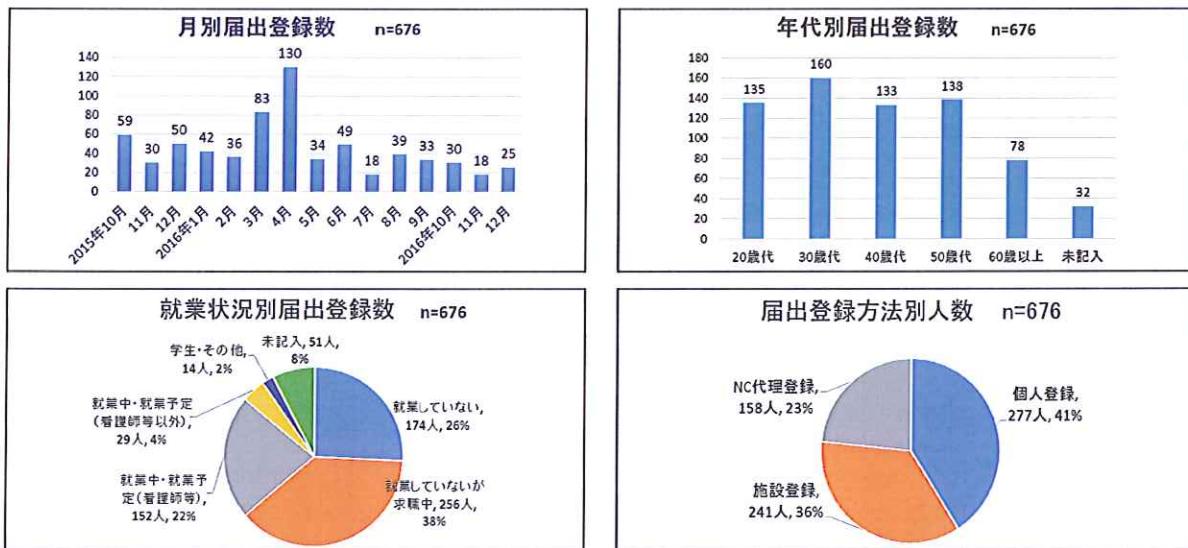
またスタッフからも「利用者さんへの関わり方を見直すいい経験になった」と今回の受け入れが自分たちを振り返るよい機会となりました。

今後もご自宅で生活する利用者様の一助となるべく、ステーション一丸となって地域の関係者皆様と共に歩んでいかなければと思います。



看護職の離職時等の届出制度の状況

平成27年10月1日～平成28年12月末現在、新潟県の届出登録数は676名です。(全国36,359名)



ナースセンターは届出登録をされた方の状況に合わせた再就職の支援をしています。
平成28年12月末現在、109名の方が再就職されました。

求人・求職利用状況

○求職登録者数 688人

○求人登録数 788人

病院	診療所	訪問看護ステーション	老人保健施設	特別養護老人ホーム	その他
392	69	33	49	55	190

○就職者からの相談件数 1,868件

来所	電話	郵便等	メール
245	1,254	145	224

○求人施設からの相談件数 1,384件

来所	電話	郵便等	メール
127	958	92	207

新潟県ナースセンターは、看護職と求人施設を応援します。

新潟県ナースセンターは新潟県の委託を受けた、看護職員と求人施設のための無料職業紹介所です。就業に関する相談や就業中の不安や悩みごと相談などお気軽にご相談ください。専任の相談員（看護職）が親身に対応します。

新潟県内のハローワークでお仕事相談を開催しています。各ハローワークにお問い合わせください。

<問い合わせ先>

公益社団法人新潟県看護協会 新潟県ナースセンター

TEL: 025-233-6011 FAX: 025-265-4188

※お近くの相談窓口もご利用ください。(開設時間 10:00 ~ 15:00)

上越相談窓口（上越保健所内） 毎週月・水曜日 070-2175-6014

南魚沼相談窓口（南魚沼市立ゆきぐに大和病院内） 毎週金曜日 070-2175-6012

柏崎相談窓口（柏崎市役所内） 每週火・木曜日 070-2175-6012

お知らせコーナー

平成29年度 新潟県看護協会 通常総会・職能別交流集会のご案内

期日：平成29年6月14日（水）

会場：新潟グランドホテル 悠久の間 【午前 通常総会／午後 職能別交流集会】

役員の改選があります。役員候補者及び推薦委員を推薦する場合は、定款細則第11条により、通常総会4日前（5月5日）までに会長に届出が必要です。

新潟県への平成29年度予算要望書提出について

平成28年12月21日に新潟県に要望書を提出いたしました。

要望事項は、以下の項目です。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 看護職員確保対策 | 2 在宅医療の推進 |
| (1) 看護職員の定着促進 | (1) 訪問看護ステーションの機能強化 |
| (2) 看護基礎教育の体制強化 | (2) 訪問看護師の確保・定着対策 |
| (3) ナースセンターの機能強化 | (3) 訪問看護の推進 |

※要望書は新潟県看護協会ホームページに掲載しています

労働と看護の質向上のためのデータベース(DiNQルディンクル)事業参加病院募集のご案内

より良い看護実践のための日本看護協会による労働と看護の質評価事業です。

目的

- ・看護実践をデータ化することで、看護管理者のマネジメントを支援し看護実践の強化を図る
- ・政策提言のためのエビデンスとしてデータを有効活用し、看護政策の実現を目指す

参加病院募集期間 平成29年1月10日～3月17日

※詳しい情報は日本看護協会ホームページでご確認ください

看護研修センターをご利用の皆様へ

○看護研修センターには駐車スペースがありません。

公共の交通機関をご利用ください。なお、県立がんセンター新潟病院の駐車場の利用は堅く禁止します。

○お忘れ物は3ヶ月保管後、処分させていただきます。ご了承ください。

広報委員会からのお知らせ

平成29年度は皆さんの病院や施設の「自慢できること」を募集します。応募先は新潟県看護協会広報委員会まで。400字程度で写真添付の上、ご応募ください。その中から厳選させていただき、「看護協会だより」に掲載させていただきます。

応募先：新潟県看護協会広報委員会 koho@niigata-kanngo.com

ナースシップについて

キャリナースには登録されましたか？ キャリナースはとっても便利な機能です。

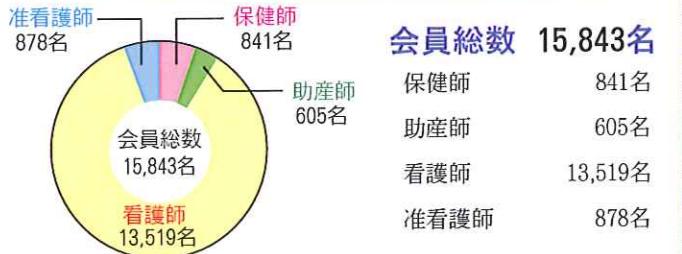
会員情報の登録変更や、活動履歴の確認等が手軽に行えます。是非登録してご活用ください！



協会事務局各部署の電話番号

総務課	電話 (025) 265-1225 / (025) 233-6550 FAX (025) 266-1199
ナースセンター課	電話 (025) 233-6011 FAX (025) 265-4188
訪問看護推進課	電話 (025) 265-4188 FAX (025) 233-7672
教育研修課	電話 (025) 265-1253 / (025) 265-1254 (025) 265-1256 / (025) 265-1343 (025) 265-1344 教育担当事務 FAX (025) 233-7672 / (025) 266-1199

新潟県看護協会会員数 平成29年2月10日現在



編集後記

編集にあたり皆様方に多くのご協力を頂きまして、大変有難うございました。今後も協会員の皆様に様々な情報を提供していくよう広報委員会一同努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

koho@niigata-kanngo.com

広報委員：安藤、永石、坂井、長濱、木嶋、木口